

平成 23 年度 事 業 報 告

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

公益社団法人 自 疆 術 普 及 会

I 【概 要】

平成 23 年度は、ギリシアに端を発する欧州危機を初めとする世界金融不安、円高と未曾有の大災害による製造業・輸出産業の不振、若年層に及ぶ雇用不安、日本人の「絆」に黄色信号が点った被災地の瓦礫処理の問題等々、まるでパンドラの箱が引っ繰り返ったかの如き有様であった。しかしその箱に唯一残ったとされるエルピス、「希望」とか「期待」とか「予兆」というものがあるのならば、世の人々がそれぞれの背負うものをしっかりと背負い前進することで道は拓かれていくものと思われる。

4 月 1 日の新法人としての発足に伴い、我々自疆術の同人は自己の精進により自己の健康の維持と増進を図るのみならず、広く社会に自疆術の素晴らしさを伝え、健康で明るくそして力強い社会再生の一助ともならんことを念じ、たとえ微力であろうとも“我々が核となって日本国の元気を創るのだ”との意気込みをもって各事業を遂行したものと考えている。以下簡単に記する。

1、4 月 8 日に迫っていた指導者養成事業の柱である第 82 回熱川研修会の実施について

約 2 万名に上る死者・行方不明者の方々を考え、喪に服し自粛すべきだとの強い意見があった。しかし、活動可能な力を有する者（法人）はそれぞれその本分を十二分に果たし、失われた日本国の元気復活の一助となるのが亡くなられた方々への真の手向けになり、そしてそれを望んでおられる筈である。日本国が沈潜していくことなど望まない筈であり、本会の最重要事業の一つである指導者養成特別研修会の実施こそその第一歩であるとの結論に達した。引き続き起こる余震、交通機関の運休等その実施には種々の困難が伴ったが、全国から参集した研修参加者、指導担当講師、本部職員の大きな理解と協力を得て実現でき、本会が非常時にもその本分を尽くし本来の事業を遂行できる組織であり法人であることを示すことができたものと考えている。

2、第二道場の建設について

落札した建築請負業者が本社を山形県に置く業者であったため、地鎮祭直後の大震災の影響の如何によっては工事続行の断念も覚悟したが、幸いなことに本社の被害が軽微であったこと、その建築請負現場が太平洋側被災地にほとんどなかったこと等から続行を決定した。その後資材調達については種々の困難もあったが、業者の誠実な努力によりほぼ予定通りに完工した。これにより普及促進事業の一層の強化が図られることになった。

3、日本武道館における「全国大会」の実施について

昭和 47 年東京都北区の近藤診療所の近くで自疆術教室が再開されて 40 年、その発展と公益社団法人として第二の誕生を果たしたことを喜び、自疆術の優秀性・合理性を広く社会に啓発することを目的に、会員のみならず一般の方々をも含め 9,000 余名の参加の下に盛大に実施された。

一般の方々には本会へのご理解を戴き、会員の方々には自彊術普及への誇りと普及への意欲を大いに喚起したものと考えている。

4、大災害に伴う、お見舞金・義援金の募金活動について

当初想定した額をはるかに上回る金額をお寄せ戴き、自彊術の同人の心を垣間見たような感動を覚えた。被災会員は約千数百名に上り、そのお見舞金への配賦や義援金への拠出について執行理事会では慎重に検討し、お見舞金配賦については全壊・半壊・流失等重度の罹災の方々に、義援金については日本赤十字社・あしなが育英会に拠出することをご理解を戴いた。

5、その他

スペイン国オビエド市で予定されていた海外交流については、国内活動を優先すべきであるとして中止された。

また、公益社団法人化初年度ということもあり、日本経済新聞や月刊誌『致知』など有力マスコミの取材を受けその反応も大きく、自彊術に対する社会の認知・信頼の醸成が一層進んでいるものと思われる。

なお、平成23年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、50,985名となり前年度比1,161名(約2.3%)の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものとする。

| 会 員 | 平成23年3月末 | 平成24年3月末 | 増 減 |
|-------|----------|----------|--------|
| 名譽会員 | 1 | 1 | 0 |
| 正 会 員 | 607 | 611 | +4 |
| 賛助会員 | 49,824 | 50,985 | +1,161 |
| 合 計 | 50,432 | 51,597 | +1,165 |

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1、指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

従前よりの教場に加えて、下記講習会等を実施し普及に努めた。

① 新設教室

指導者の増加に伴い前年度確定値比として新教場(126)が新設された。

| 新設教場増加数(初心者講習会を含む) | | | | | | | | |
|-------------------------|-----|-----|-------|-----|-----|------|------|-------|
| | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 関西 | 中国四国 | 九州沖縄 | 合計 |
| 既存教室 H22 下期 (確定値) | 57 | 207 | 2,208 | 532 | 536 | 61 | 350 | 3,951 |
| H23年度増減 (※速報値) | -1 | +8 | +77 | +14 | +21 | -6 | +13 | +126 |
| 計 | 56 | 215 | 2,285 | 546 | 557 | 55 | 363 | 4,077 |

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

地方公共団体・病院のリハビリセンター・学校等が広く一般から募った参加者を対象として主宰するものである。生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり講師派遣の依頼が増加した。また民間カルチャーセンターからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術 31 動から抜粋して行った。

2、指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1)指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

| | |
|--------|---|
| 第 82 回 | 平成 23 年 4 月 8 日～10 日 指導者 師範 2 名・準師範 1 名・奥伝 5 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 129 名 |
| 第 83 回 | 平成 23 年 6 月 24 日～26 日 指導者 師範 2 名・準師範 2 名・奥伝 5 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 156 名 |

| | |
|--------|--|
| 第 84 回 | 平成 23 年 10 月 21 日～23 日 指導者 師範 2 名・準師範 1 名・奥伝 5 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 122 名 |
|--------|--|

近年、厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。

本部規程のガイドラインにより、各回 150 名前後の参加者とした。

なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容も厳しいものになっている。

② シニア熱川研修会(65 歳以上の指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

| | |
|-------|---|
| 第 5 回 | 平成 23 年 10 月 19 日～21 日 137 名参加 指導者 師範 3 名・準師範 2 名・奥伝 3 名 受講対象者 65 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 132 名 |
|-------|---|

すでに指導者として活躍している人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たといえることができる。指導者たちの高齢化に伴う指導力の漸次的低下に対応する研修会の有意性が認識される。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

| 名 称 | 受講資格 | 実施場所 | 指導講師 |
|--------------|-------|---|-------------|
| 東北 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 福島県福島市置賜町 5 置賜会館 | 師範 長谷場 京 他 |
| 関東 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 東京都北区中里 2-13-1 本部道場 | 師範 近藤 幸世 他 |
| 神奈川県 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 東京都北区中里 2-13-1 本部道場 | 師範 幸村 恵美子 他 |
| 中部 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知 | 準師範 永井 弘子 他 |
| 関西 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 大阪府大阪市阿倍野区松崎町 2-2-25 安倍乃荘 | 準師範 四本 多美子他 |
| 九州・中国 指導者養成所 | 初伝・中伝 | 福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北古船場 1-6 菅原会館 | 師範 久保 穎子他 |

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

平成 23 年度 地方特別研修会実施状況

| | 開催支部 | 支部長名 | 開催日 | | 会場 | 講師名 (師範準師範) | 講師名 (奥伝) | 実行委員長 |
|----|-----------------|--------|-------|-------|-----------------------------|----------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | |
| 1 | 豊橋支部 | 國井 淳子 | 5/7 | 5/8 | 豊橋パークホテル | 田幡 鈴美 | 成本 紀子 | 國井 淳子 |
| 2 | 春日部支部 | 大野 光代 | 5/17 | 5/18 | 本部道場 | 竹内 英子 | 中島 陽子 | 大野 光代 |
| 3 | 立川支部 | 江波戸 光子 | 5/21 | 5/22 | ハヶ岳ロイヤルホテル | 小林 久美子 | 三上 博子 | 江波戸 光子 |
| 4 | 大阪府 大阪東支部 | 木村 嘉津子 | 5/21 | 5/22 | 安倍乃荘 | 幸村 恵美子 | 渡辺 公子 | 木村 嘉津子 |
| 5 | 名古屋中支部 | 森田 恵美子 | 5/23 | 5/24 | アイリス愛知 | 宮本 綾子 | 善上 陽子 | 森田 恵美子 |
| 6 | 川越・熊谷・東 松山支部 | 佐藤 秀子 | 5/24 | 5/25 | 本部道場 | 虫生 一恵 | 鈴木 すが子 | 佐藤 秀子 |
| 7 | 練馬・千代田 支部 | 宮崎 健 | 5/31 | 6/1 | 本部道場 | 國井 淳子 | 鈴木 多津子 | 宮崎 町子 |
| 8 | 札幌支部 | 大糶 敬子 | 6/4 | 6/5 | 札幌全日空ホテル | 佐藤 秀子 | 白須 清子 | 大糶 敬子 |
| 9 | 千葉県成田支部 | 長岡 勝美 | 6/14 | 6/15 | 本部道場 | 四本 多美子 | 浜田 恵子 | 長岡 勝美 |
| 10 | 千葉県稲毛・東 流山支部 | 西澤 伴子 | 6/28 | 6/29 | 本部道場 | 森田 恵美子 | 加藤 由美子 | 西澤 伴子 |
| 11 | 兵庫県支部 | 四本 多美子 | 7/2 | 7/3 | シーバル須磨 | 永井 弘子 | 小久保 正代 | 四本 多美子 |
| 12 | 立川朝日・春 日部南支部 | 大塚 愛子 | 7/5 | 7/6 | 本部道場 | 幸村 恵美子 | 門倉 くみ子 | 大塚 愛子 |
| 13 | 東京北支部 | 堤 恭子 | 7/9 | 7/10 | 本部道場 | 竹内 英子 | 吉川 由美子 | 堤 恭子 |
| 14 | わかやま県支部 | 田幡 鈴美 | 7/16 | 7/17 | 財団法人和歌山 地域地場産業振 興センター | 森下 奈美子 | 下里 洋子 | 田幡 鈴美 |
| 15 | 千葉県支部 | 猪狩 正子 | 7/19 | 7/20 | 本部道場 | 杉田 富久子 | 江波戸 光子 | 猪狩 正子 |
| 16 | 千葉県柏支部 | 久保田 元子 | 7/26 | 7/27 | 本部道場 | 大野 光代 | 斉藤 克子 | 久保田 元子 |
| 17 | 東北総支部 | 長谷場 京 | 9/3 | 9/4 | 福島市飯坂町「摺 上亭・大鳥」 | 山尾慶子 | 片海 喜美子 | 長谷場 京 |
| 18 | 京都洛中 滋賀支部 | 定行 伊佐子 | 9/10 | 9/11 | アヤハレークサイ ドホテル | 宮本 綾子 | 嶋崎 啓子 | 定行 伊佐子 |
| 19 | 大宮支部 | 竹内 英子 | 10/1 | 10/2 | 本部道場 | 長谷場 京 | 高原 恵子 | 竹内 英子 |
| 20 | むさし野支部 | 石川 昌子 | 10/4 | 10/5 | 本部道場 | 久保田 元子 | 高城 美恵子 | 石川 昌子 |
| 21 | 奈良支部 京都支部 | 島崎 啓子 | 10/7 | 10/8 | 京都東寺内 洛南会館 | 虫生 一恵 | 龍崎 康江 | 島崎 啓子 |
| 22 | 小平支部 | 小池 喜代子 | 10/25 | 10/26 | 本部道場 | 堀井 恵子 | 都築 チヨ子 | 小池 喜代子 |
| 23 | 三重県支部 静岡県支部 | 奥野 敏子 | 10/29 | 10/30 | ホテルグリーンパ ーク鈴鹿 | 小林 久美子 | 木村 嘉津子 | 奥野 敏子 |
| 24 | 名古屋支部 | 永井 弘子 | 11/28 | 11/29 | アイリス愛知 | 四本 多美子 | 綿田 富美枝 | 永井 弘子 |
| 25 | 神奈川県総支部 | 小林 久美子 | 11/29 | 11/30 | 本部道場 | 竹内 英子 | 藤井 靖子 | 小林 久美子 |
| 26 | 富士北麓須 所沢支部 | 結城 献子 | 9/13 | 9/14 | 富士河口湖町立 小立福祉センター | 藤井 眞規子 | 堤 恭子 | 結城 献子 |
| 27 | 九州・中国 総支部 | 久保 颯子 | 1/28 | 1/29 | 警固神社 | 竹内 英子 | 堤 恭子 | 宮本 綾子 |

(2) 上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与に関する規程」第7条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① 準師範研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認及びその統一を主眼に置く研修をする)

箱根：平成24年2月18日～19日

- ② 奥伝研修会

(i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成23年4月19日、8月2日、10月18日、平成24年1月10日

(ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根：平成24年2月19日～20日

- ③ 支部長研修会

本部道場他：平成23年4月19日、6月22日、10月18日、平成24年1月10日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

| 免状 | 年度 | 月 | 人数 | 小計 |
|-----|-------|-----|------|------|
| 初伝 | 平成23年 | 4月 | 116名 | |
| | | 7月 | 220名 | |
| | | 10月 | 80名 | |
| | 平成24年 | 1月 | 240名 | 656名 |
| 中伝 | 平成23年 | 8月 | 178名 | 178名 |
| 奥伝 | 平成23年 | 6月 | 9名 | 9名 |
| 準師範 | 平成23年 | 6月 | 2名 | 2名 |
| 師範 | 平成23年 | 6月 | 0名 | 0名 |

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

| | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 関西 | 中国四国 九州 | 合計 |
|-----|-----|----|-----|----|----|------------|-----|
| 初伝 | 12 | 32 | 415 | 62 | 91 | 44 | 656 |
| 中伝 | 2 | 6 | 100 | 21 | 26 | 23 | 178 |
| 奥伝 | 0 | 0 | 6 | 1 | 1 | 1 | 9 |
| 準師範 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 師範 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

公 2 普及啓発事業

1、自彊術に関する調査研究(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10月20日第5回シニア熱川研修会において研修参加者を対象に健康度測定調査を実施した。その結果、自彊術歴の違いにより多少の差はあるが、体操継続者の健康度は、各年代グループ毎の平均健康度をかなり上回るということが明らかになった。

2、自彊術に関する刊行物等の発行(定款第 4 条第 1 項(3))

①機関紙「自彊の友」の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、会長の日誌、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

本年度も引き続き「自彊術」の効用・会員の動向の関連記事を中心に編集した。平成 23 年度各号の主な記事は次の通りである。

4月号(422号)

- ・内閣府より、公益社団法人の認定を受ける
- ・東北・関東大震災余波

5月号(423号)

- ・東日本大震災(福島支部)
- ・東日本大震災義援金について
- ・第82回熱川研修会報告
- ・平成23年4月1日附初伝取得者名簿(116名)
- ・(公社)自彊術普及会の公益目的事業について

6月号(424号)

- ・三重県支部たより
- ・第82回熱川研修会に参加して

7月号(425号)

- ・第24回通常総会関連記事
- ・「健康度測定調査から見た自彊術」
① 整形外科医・スポーツドクター吉松俊一先生(公開講演会)

8月号(426号)

- ・湘南支部たより
- ・「健康度測定調査から見た自彊術」② 吉松俊一先生(公開講演会)

9月号(427号)

- ・「全国大会」(於:日本武道館)自彊術披露者のオーディション
- ・平成23年7月1日附初伝取得者名簿(220名)
- ・東日本大地震見舞金配賦について
- ・「健康度測定調査から見た自彊術」③ 吉松俊一先生(公開講演会)

10月号（428号）

- ・筑波大学名誉教授村上和雄博士と対談（月刊誌『致知』の取材による）
- ・マスコミに現れた自彊術（日本経済新聞 8月28日掲載より転載）

11月号（429号）

- ・第2道場完成
- ・平成23年8月15日附中伝取得者名簿（178名）

12月号（430号）

- ・「公益社団法人自彊術普及会全国大会」 11月15日実施
- ・平成23年10月1日附初伝取得者名簿（80名）

1月号（431号）

- ・新年の御挨拶
- ・マスコミに現れた自彊術「愛を捧げ、夢を求め、命輝かせて生きる」
①『致知』12月号”生命のメッセージ”より転載

2月号（432号）

- ・福島支部35周年記念大会
- ・平成24年1月1日附初伝取得者名簿（240名）
- ・マスコミに現れた自彊術「愛を捧げ、夢を求め、命輝かせて生きる」
② 月刊誌『致知』12月号より転載

3月号（433号）

- ・上級指導者研修会（於.箱根）
- ・福島支部35周年記念講演会「心と体のための食事学」
① 東京農業大学名誉教授 小泉武夫博士
- ・マスコミに現れた自彊術「愛を捧げ、夢を求め、命輝かせて生きる」
③ 月刊誌『致知』より転載

②「リーフレット」配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。普及活動が活発になるにつれて配布量は増加し、また、「社団法人」から「公益社団法人」への移行に伴う刷り直しと増刷の必要から、20,000部の作成配布となった。

③「自彊術の葉」配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。葉を見やすく改良したことも起因し、8,000部の作成・配布となった。

3、webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4、公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月21日に整形外科医・スポーツドクター吉松俊一先生により「健康度測定調査から見た自彊術」の演題で実施された。

5、周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

①「全国大会」の実施

平成23年11月15日13:00より日本武道館に於いて、戦後の自彊術教室再開より40周年にあたること、内閣府より公益法人として認定され公益社団法人となったことを慶び、またその責任を自覚し公益法人としての社会への貢献を再確認し自彊術体操をより多くの人々に知っていただくことを目的として実施された。一般の方々を含め全国より9,000余名の方々が参集した。

②支部周年行事

- ・35周年
福島支部
- ・15周年
熊谷支部

6、海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

スペイン国オビエド市での文化交流が6月に予定されていたが大災害への配慮及び国内活動を優先すべきものと考えて自粛することとなった。

7、近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 1,111名(全国大会前日・翌日は435名)

Ⅲ 【その他】

1、会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1)総会・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成23年6月21日 京王プラザホテル
議題：平成22年度事業報告・収支決算報告及び監査報告
○予算総会 平成24年2月25日 北とびあ
議題：平成24年度事業計画
平成24年度収支予算
- (2)理事会・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成23年6月11日 本部道場
議題：平成22年度事業報告・収支決算報告及び監査報告
任期満了に伴う役員改選の件
○臨時理事会 平成23年6月21日 京王プラザホテル
議題：代表理事・業務執行理事の選定の件
○予算理事会 平成24年2月25日 北とびあ
議題：平成24年度事業計画
平成24年度収支予算
- (3)全国支部長会議・・・・ ○第8回全国支部長会議 平成23年6月22日 京王プラザホテル
議題：賛助会費の納入について
支部会計について
地方特別研修会資料
無料講習会について
ボランティア活動について
全国大会(日本武道館)について 等
○支部長連絡会 平成23年10月18日 本部道場
議題：全国大会(日本武道館)について
資格保有者のアンケート調査について
支部会計について 等
○支部長連絡会 平成24年1月10日 本部道場
議題：賛助会員名簿について
新定款・規約・書式の配布について 等
- (4)支部主催会議・・・・ 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2、東日本大震災に伴う見舞金義援金募金活動の実施

未曾有の大災害により、幸いにも人的被害こそなかったものの、流失・全壊・半壊などの重度の被災をされた会員は213名に上り、他人事ではない事態に会員の総力を挙げて募金活動が実施された。募金総額は20,003,775円となり拠出金額の内訳は以下の通りとなった。

| | |
|--------------------------------|--------------|
| ・重度罹災会員への見舞金 | 15,520,000 円 |
| ・あしなが育英会 (あしなが東日本大地震津波遺児募金) | 2,700,000 円 |
| ・日本赤十字社(東日本大震災義援金) | 1,700,000 円 |
| 計 | 19,920,000 円 |

| 罹災会員への見舞金内訳 | 配賦基準 | 対象者数 | 金額 | 配賦金額 |
|-------------|---------------------|-------------------|-------|--------------|
| | 全壊・流失 | 36 名 | 15 万円 | 540 万円 |
| | 半壊・原発避難・ 重度の地盤沈下 | 136 名 (うち1名辞退) | 7 万円 | 945 万円 |
| | 床上浸水・地盤沈下 | 26 名 | 2 万円 | 52 万円 |
| | 床下浸水等 | 15 名 | 1 万円 | 15 万円 |
| | | | 計 | 15,520,000 円 |

なお、差額 83,775 円は、通信費、振り込み手数料その他諸雑費の一部として使用された。

3、法人としての義援金拠出

東日本大震災について、法人として 1,000,000 円を日本赤十字社(東日本大震災義援金口)に拠出した。

4、第二道場の竣工

公 1 普及活動の中心となる指導者養成事業の充実と増進を図るとともに、会議その他の多目的集会所としての活用を目的として建設の計画がなされたものである。本部自彊術会館の隣地に総工費約 5,800 万円、鉄筋コンクリート造 2 階建、総床面積 182.16 m²(55.10 坪)の道場が完成し 9 月 16 日竣工式が行われた。2 月の地鎮祭直後の大震災発生の影響で、資材調達が困難であるということで大変心配したが工事関係者の努力と天候にも恵まれ、工事はほぼ予定通りに進行することができた。早速本部研修会としての使用、支部長会議、11 月実施の「全国大会」の準備会議等の使用に供された。また、平成 24 年度には、本部研修会の大幅なクラス増が予定され、指導者養成事業の強化と促進がなされるものと期待している。

5、マスコミに取り上げられた自彊術

・本部

日本経済新聞(2011 年 8 月 28 日)

「最古の健康体操自彊術 31 動作、体の働き整える」

月刊誌「致知」(2011 年 12 月号)

「生命のメッセージ」(村上和雄 筑波大学名誉教授 と 久保副会長との対談)

日刊ゲンダイ(2012 年 1 月 18 日)

「健康体操自彊術の極意」体調不良や生活習慣病に効く

- ・福島支部
福島民報(2011年11月24日)
「創立35周年祝い合うー小泉武夫さん講演」
福島中央新報(2012年2月7日)
「自彊術で健康を①」
- ・茨城県支部
茨城県県北生涯学習センター センターだより
「元気は自分で作る、健康は自分で守る！」
- ・千葉県支部
船橋市の広報紙(2012年3月)
- ・千葉県柏支部
インターネットライブ放送(2011年10月21日放送)
- ・練馬支部
練馬広報紙(2011年4月～7月、2012年1月)
- ・立川支部
リビング多摩(2011年9月17日、10月22日)
- ・横浜支部
タウンニュース(ミニコミ紙)
- ・神奈川南支部
港南区タウンニュース(2011年6月24日、11月27日、2012年3月26日)
- ・湘南支部
日本テレビ(2011年10月2日放映)
「24時間リポート」
ラジオ FM ヨコハマ(2012年3月14日放送)
「ブリーズ藤田優一街角レポート」
- ・北九州支部
朝日新聞(2011年9月30日)
西日本新聞(2011年10月2日)
日刊スポーツ(2011年10月26日)
西日本新聞(2011年12月4日)
日本経済新聞(2012年1月17日)
産経新聞(2012年2月3日)
KBN 香川テレビ(2011年8月2日)
「いきいきワイド」

平成23年度決算報告書

貸借対照表

平成24年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 57,800,043 | 45,691,160 | 12,108,883 |
| 未収金 | 831,314 | 527,896 | 303,418 |
| 前払金 | 0 | 4,200,000 | -4,200,000 |
| 前払費用 | 651,871 | 79,889 | 571,982 |
| 流動資産合計 | 59,283,228 | 50,498,945 | 8,784,283 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 投資有価証券 | 30,213,000 | 30,213,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 30,213,000 | 30,213,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 33,000,000 | 33,000,000 | 0 |
| 減価償却引当資産 | 50,000,000 | 50,000,000 | 0 |
| 建物取得積立預金 | 0 | 30,000,000 | -30,000,000 |
| 記念事業積立金 | 0 | 15,000,000 | -15,000,000 |
| 特定資産合計 | 83,000,000 | 128,000,000 | -45,000,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 337,645,778 | 286,372,538 | 51,273,240 |
| 建物附属設備 | 10,476,709 | 4,359,057 | 6,117,652 |
| 構築物 | 1,053,982 | 2,730,000 | -1,676,018 |
| 建設仮勘定 | 0 | 21,630,000 | -21,630,000 |
| 什器備品 | 5,550,473 | 4,674,318 | 876,155 |
| 土地 | 267,724,687 | 267,724,687 | 0 |
| 減価償却累計額 | -75,165,896 | -69,531,086 | -5,634,810 |
| ソフトウェア | 476,700 | 476,700 | 0 |
| 電話加入権 | 72,800 | 72,800 | 0 |
| 商標権 | 1,800,375 | 1,800,375 | 0 |
| 保証金 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| 保険積立金 | 14,665,984 | 14,665,984 | 0 |
| その他固定資産合計 | 564,321,592 | 534,975,373 | 29,346,219 |
| 固定資産合計 | 677,534,592 | 693,188,373 | -15,653,781 |
| 資産合計 | 736,817,820 | 743,687,318 | -6,869,498 |

| | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 1,910,248 | 2,319,862 | -409,614 |
| 前受会費 | 41,838,000 | 39,846,500 | 1,991,500 |
| 預り金 | 916,226 | 491,935 | 424,291 |
| 仮受金 | 0 | 456,000 | -456,000 |
| 流動負債合計 | 44,664,474 | 43,114,297 | 1,550,177 |
| 2 固定負債 | | | 0 |
| 役員退職慰労引当金 | 34,853,500 | 33,853,500 | 1,000,000 |
| 退職給付引当金 | 375,876 | 0 | 375,876 |
| 固定負債合計 | 35,229,376 | 33,853,500 | 1,375,876 |
| 負債合計 | 79,893,850 | 76,967,797 | 2,926,053 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 指定正味財産合計 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| (うち基本資産への充当額) | (30,000,000) | (30,000,000) | (0) |
| 2 一般正味財産 | | | |
| 一般正味財産 | 626,923,970 | 636,719,521 | -9,795,551 |
| 一般正味財産合計 | 626,923,970 | 636,719,521 | -9,795,551 |
| (うち基本資産への充当額) | (213,000) | (213,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (50,000,000) | (95,000,000) | (-45,000,000) |
| 正味財産合計 | 656,923,970 | 666,719,521 | -9,795,551 |
| 負債及び正味財産合計 | 736,817,820 | 743,687,318 | -6,869,498 |

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 390,000 | 390,000 | 0 |
| ② 特定資産運用益 | 36,980 | 91,000 | -54,020 |
| ③ 受取会費 | 158,112,500 | 155,399,000 | 2,713,500 |
| 正会員受取会費 | 6,210,000 | 6,150,000 | 60,000 |
| 賛助会員受取会費 | 151,902,500 | 149,249,000 | 2,653,500 |
| ④ 事業収益 | 88,661,627 | 88,559,489 | 102,138 |
| 講習会等実施事業収益 | 13,477,377 | 12,434,489 | 1,042,888 |
| 指導者養成事業収益 | 57,833,000 | 58,632,000 | -799,000 |
| 資格等授与事業収益 | 17,351,250 | 17,493,000 | -141,750 |
| ⑤ 雑収益 | 9,617,654 | 10,667,192 | -1,049,538 |
| 受取利息 | 2,654 | 1,299 | 1,355 |
| 総会・懇親会会費 | 9,585,000 | 10,665,893 | -1,080,893 |
| その他雑収益 | 30,000 | 0 | 30,000 |
| 経常収益計 | 256,818,761 | 255,106,681 | 1,712,080 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | 214,876,766 | 182,955,398 | 31,921,368 |
| 役員報酬 | 34,150,800 | 34,306,680 | -155,880 |
| 給料手当 | 11,748,601 | 11,278,275 | 470,326 |
| 臨時雇賃金 | 2,929,725 | 2,595,050 | 334,675 |
| 報酬謝金 | 25,461,600 | 30,273,323 | -4,811,723 |
| 役員退職慰労金繰入額 | 717,300 | 0 | 717,300 |
| 退職給付費用 | 348,062 | 0 | 348,062 |
| 退職給付金 | 250,000 | 800,000 | -550,000 |
| 法定福利費 | 2,267,969 | 2,547,781 | -279,812 |
| 会議費 | 10,911,267 | 20,997,897 | -10,086,630 |
| 会場費 | 28,158,841 | 0 | 28,158,841 |
| 旅費交通費 | 19,124,880 | 10,543,597 | 8,581,283 |
| 通信運搬費 | 8,566,949 | 8,606,806 | -39,857 |
| 減価償却費 | 6,643,813 | 5,376,202 | 1,267,611 |
| 什器備品費 | 591,618 | 0 | 591,618 |
| 消耗品費 | 13,890,499 | 11,226,209 | 2,664,290 |
| 修繕費 | 1,010,520 | 894,600 | 115,920 |
| 印刷製本費 | 9,508,005 | 9,699,555 | -191,550 |
| 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 |
| 渉外費 | 623,500 | 878,829 | -255,329 |
| 光熱水料費 | 1,255,856 | 1,165,816 | 90,040 |
| リース料 | 91,728 | 114,660 | -22,932 |
| 保険料 | 148,181 | 0 | 148,181 |
| 諸謝金 | 2,311,444 | 1,695,999 | 615,445 |
| 租税公課 | 1,875,664 | 1,895,078 | -19,414 |
| インターネット | 14,616 | 1,339,800 | -1,325,184 |
| 支払手数料 | 273,890 | 249,480 | 24,410 |
| 委託費 | 7,269,900 | 2,317,070 | 4,952,830 |
| 事務委託費 | 24,040,200 | 23,398,950 | 641,250 |
| 雑費 | 691,338 | 753,741 | -62,403 |

| | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| ② 管理費 | 50,384,122 | 64,362,528 | -13,978,406 |
| 役員報酬 | 13,939,200 | 9,913,320 | 4,025,880 |
| 給料手当 | 7,400,742 | 8,100,243 | -699,501 |
| 臨時雇賃金 | 69,760 | 306,300 | -236,540 |
| 役員退職慰労金繰入額 | 282,700 | 8,853,500 | -8,570,800 |
| 退職給付費用 | 27,814 | 724,928 | -697,114 |
| 法定福利費 | 2,172,502 | 2,163,984 | 8,518 |
| 福利厚生費 | 211,554 | 413,098 | -201,544 |
| 会議費 | 8,694,615 | 11,237,356 | -2,542,741 |
| 会場費 | 873,705 | 0 | 873,705 |
| 旅費交通費 | 865,633 | 1,209,390 | -343,757 |
| 通勤費 | 410,400 | 356,420 | 53,980 |
| 通信運搬費 | 956,579 | 915,489 | 41,090 |
| 減価償却費 | 1,233,665 | 1,155,115 | 78,550 |
| 什器備品費 | 22,050 | 235,630 | -213,580 |
| 消耗品費 | 1,005,621 | 1,847,152 | -841,531 |
| 修繕費 | 0 | 6,880 | -6,880 |
| 印刷製本費 | 327,238 | 462,672 | -135,434 |
| 渉外費 | 514,027 | 425,130 | 88,897 |
| 光熱水料費 | 526,992 | 531,495 | -4,503 |
| リース料 | 235,872 | 212,940 | 22,932 |
| 保険料 | 74,812 | 186,064 | -111,252 |
| 諸謝金 | 577,777 | 522,222 | 55,555 |
| 租税公課 | 4,180,336 | 3,953,372 | 226,964 |
| 支払寄付金 | 1,059,000 | 103,000 | 956,000 |
| 支払手数料 | 275,350 | 407,081 | -131,731 |
| 委託費 | 4,015,069 | 9,528,680 | -5,513,611 |
| 雑費 | 431,109 | 591,067 | -159,958 |
| 経常費用計 | 265,260,888 | 247,317,926 | 17,942,962 |
| 当期経常増減額 | -8,442,127 | 7,788,755 | -16,230,882 |
| 2 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | 0 |
| 固定資産除却損 | 1,353,424 | 0 | 1,353,424 |
| 経常外費用計 | 1,353,424 | 0 | 1,353,424 |
| 当期経常外増減額 | -1,353,424 | 0 | -1,353,424 |
| 当期一般正味財産増減額 | -9,795,551 | 7,788,755 | -17,584,306 |
| 一般正味財産期首残高 | 636,719,521 | 628,930,766 | 7,788,755 |
| 一般正味財産期末残高 | 626,923,970 | 636,719,521 | -9,795,551 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 656,923,970 | 666,719,521 | -9,795,551 |

正味財産増減計算書内訳表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | 法人会計 | 合 計 |
|--------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|
| | 普及促進事業(公1) | 普及啓発事業(公2) | 共 通 | 小 計 | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | |
| ①基本財産運用益 | | | 390,000 | 390,000 | 0 | 390,000 |
| ②特定資産運用益 | | | 36,980 | 36,980 | 0 | 36,980 |
| ③受取会費 | | | 79,056,250 | 79,056,250 | 79,056,250 | 158,112,500 |
| 正会員受取会費 | | | 3,105,000 | 3,105,000 | 3,105,000 | 6,210,000 |
| 賛助会員受取会費 | | | 75,951,250 | 75,951,250 | 75,951,250 | 151,902,500 |
| ④事業収益 | 88,661,627 | 0 | 0 | 88,661,627 | | 88,661,627 |
| 講習会等実施事業収益 | 13,477,377 | 0 | 0 | 13,477,377 | | 13,477,377 |
| 指導者養成事業収益 | 57,833,000 | 0 | 0 | 57,833,000 | | 57,833,000 |
| 免状発行等事業収益 | 17,351,250 | 0 | 0 | 17,351,250 | | 17,351,250 |
| ⑤雑収益 | | | 0 | | 9,617,654 | 9,617,654 |
| 受取利息 | | | 0 | | 2,654 | 2,654 |
| 総会・懇親会会費 | | | | | 9,585,000 | 9,585,000 |
| その他雑収益 | | | | | 30,000 | 30,000 |
| 経常収益計 | 88,661,627 | 0 | 79,483,230 | 168,144,857 | 88,673,904 | 256,818,761 |
| (2) 経常費用 | | | | | | |
| ①事業費 | 116,389,963 | 98,486,803 | 0 | 214,876,766 | | 214,876,766 |
| 役員報酬 | 18,475,470 | 15,675,330 | 0 | 34,150,800 | | 34,150,800 |
| 給料手当 | 8,850,675 | 2,897,926 | 0 | 11,748,601 | | 11,748,601 |
| 臨時雇賃金 | 2,654,725 | 275,000 | 0 | 2,929,725 | | 2,929,725 |
| 報酬謝金 | 25,461,600 | 0 | 0 | 25,461,600 | | 25,461,600 |
| 役員退職慰労金繰入額 | 388,100 | 329,200 | 0 | 717,300 | | 717,300 |
| 退職給付費用 | 265,370 | 82,692 | 0 | 348,062 | | 348,062 |
| 退職給付金 | 250,000 | 0 | 0 | 250,000 | | 250,000 |
| 法定福利費 | 1,314,420 | 953,549 | 0 | 2,267,969 | | 2,267,969 |
| 会議費 | 9,478,207 | 1,433,060 | 0 | 10,911,267 | | 10,911,267 |
| 会場費 | 14,132,039 | 14,026,802 | 0 | 28,158,841 | | 28,158,841 |
| 旅費交通費 | 12,571,839 | 6,553,041 | 0 | 19,124,880 | | 19,124,880 |
| 通信運搬費 | 3,105,148 | 5,461,801 | 0 | 8,566,949 | | 8,566,949 |
| 減価償却費 | 5,330,249 | 1,313,564 | 0 | 6,643,813 | | 6,643,813 |
| 什器備品費 | 479,829 | 111,789 | 0 | 591,618 | | 591,618 |
| 消耗品費 | 4,817,562 | 9,072,937 | 0 | 13,890,499 | | 13,890,499 |
| 修繕費 | 1,010,520 | 0 | 0 | 1,010,520 | | 1,010,520 |
| 印刷製本費 | 568,305 | 8,939,700 | 0 | 9,508,005 | | 9,508,005 |
| 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 渉外費 | 579,805 | 43,695 | 0 | 623,500 | | 623,500 |
| 光熱水料費 | 1,039,222 | 216,634 | 0 | 1,255,856 | | 1,255,856 |
| リース料 | 45,864 | 45,864 | 0 | 91,728 | | 91,728 |
| 保険料 | 123,611 | 24,570 | 0 | 148,181 | | 148,181 |
| 諸謝金 | 10,000 | 2,301,444 | 0 | 2,311,444 | | 2,311,444 |
| 租税公課 | 1,518,800 | 356,864 | 0 | 1,875,664 | | 1,875,664 |
| インターネット | 0 | 14,616 | 0 | 14,616 | | 14,616 |
| 支払手数料 | 259,335 | 14,555 | 0 | 273,890 | | 273,890 |

| | | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 委託費 | 1,621,740 | 5,648,160 | 0 | 7,269,900 | | 7,269,900 |
| 事務委託費 | 1,589,500 | 22,450,700 | 0 | 24,040,200 | | 24,040,200 |
| 雑費 | 448,028 | 243,310 | 0 | 691,338 | | 691,338 |
| ②管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 50,384,122 | 50,384,122 |
| 役員報酬 | | | | | 13,939,200 | 13,939,200 |
| 給料手当 | | | | | 7,400,742 | 7,400,742 |
| 臨時雇賃金 | | | | | 69,760 | 69,760 |
| 役員退職慰労金繰入額 | | | | | 282,700 | 282,700 |
| 退職給付費用 | | | | | 27,814 | 27,814 |
| 法定福利費 | | | | | 2,172,502 | 2,172,502 |
| 福利厚生費 | | | | | 211,554 | 211,554 |
| 会議費 | | | | | 8,694,615 | 8,694,615 |
| 会場費 | | | | | 873,705 | 873,705 |
| 旅費交通費 | | | | | 865,633 | 865,633 |
| 通勤費 | | | | | 410,400 | 410,400 |
| 通信運搬費 | | | | | 956,579 | 956,579 |
| 減価償却費 | | | | | 1,233,665 | 1,233,665 |
| 什器備品費 | | | | | 22,050 | 22,050 |
| 消耗品費 | | | | | 1,005,621 | 1,005,621 |
| 印刷製本費 | | | | | 327,238 | 327,238 |
| 渉外費 | | | | | 514,027 | 514,027 |
| 修繕費 | | | | | 0 | 0 |
| 光熱水料費 | | | | | 526,992 | 526,992 |
| リース料 | | | | | 235,872 | 235,872 |
| 保険料 | | | | | 74,812 | 74,812 |
| 諸謝金 | | | | | 577,777 | 577,777 |
| 租税公課 | | | | | 4,180,336 | 4,180,336 |
| 支払寄付金 | | | | | 1,059,000 | 1,059,000 |
| 支払手数料 | | | | | 275,350 | 275,350 |
| 委託費 | | | | | 4,015,069 | 4,015,069 |
| 雑費 | | | | | 431,109 | 431,109 |
| 経常費用計 | 116,389,963 | 98,486,803 | 0 | 214,876,766 | 50,384,122 | 265,260,888 |
| 当期経常増減額 | -27,728,336 | -98,486,803 | 79,483,230 | -46,731,909 | 38,289,782 | -8,442,127 |
| 2 経常外増減の部 | | | | | | |
| (1)経常外収益 | | | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2)経常外費用 | | | | | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 | 1,353,424 | 1,353,424 | 0 | 1,353,424 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 1,353,424 | 1,353,424 | 0 | 1,353,424 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | -1,353,424 | -1,353,424 | 0 | -1,353,424 |
| 他会計振替額 | 0 | 0 | 48,085,333 | 48,085,333 | -48,085,333 | |
| 当期一般正味財産増減額 | -27,728,336 | -98,486,803 | 126,215,139 | 0 | -9,795,551 | -9,795,551 |
| 一般正味財産期首残高 | 0 | 0 | 509,375,617 | 509,375,617 | 127,343,904 | 636,719,521 |
| 一般正味財産期末残高 | -27,728,336 | -98,486,803 | 635,590,756 | 509,375,617 | 117,548,353 | 626,923,970 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 | 30,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 | 30,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | -27,728,336 | -98,486,803 | 665,590,756 | 539,375,617 | 117,548,353 | 656,923,970 |

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 - ① 有形固定資産
建物については、定額法によっている。
建物附属設備、構築物及び什器備品については、定率法によっている。
 - ② 無形固定資産
定額法によっている。
- (3) 役員退職慰労引当金の計上基準
役員の退職手当の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (4) 職員退職引当金の計上基準
職員の退職金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------|-------------|-------|------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 投資有価証券 | 30,213,000 | 0 | 0 | 30,213,000 |
| 小計 | 30,213,000 | 0 | 0 | 30,213,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 33,000,000 | 0 | 0 | 33,000,000 |
| 減価償却引当資産 | 50,000,000 | 0 | 0 | 50,000,000 |
| 建物取得積立預金 | 30,000,000 | 0 | 30,000,000 | 0 |
| 記念事業積立金 | 15,000,000 | 0 | 15,000,000 | 0 |
| 小計 | 128,000,000 | 0 | 45,000,000 | 83,000,000 |
| 合 計 | 158,213,000 | 0 | 45,000,000 | 113,213,000 |

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財 産からの充当) | (うち一般正味 財産からの充当) | (うち負債に 対応する額) |
|----------|-------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 投資有価証券 | 30,213,000 | (30,000,000) | (213,000) | |
| 小計 | 30,213,000 | (30,000,000) | (213,000) | |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 33,000,000 | (-) | (-) | (33,000,000) |
| 減価償却引当資産 | 50,000,000 | (-) | (50,000,000) | (-) |
| 建物取得積立預金 | 0 | (-) | (-) | (-) |
| 記念事業積立金 | 0 | (-) | (-) | (-) |
| 小計 | 83,000,000 | (-) | (50,000,000) | (33,000,000) |
| 合 計 | 113,213,000 | (30,000,000) | (50,213,000) | (33,000,000) |

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。
(単位:円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|-------------|------------|-------------|
| 建物 | 337,645,778 | 68,370,115 | 269,275,663 |
| 建物附属設備 | 10,476,709 | 2,883,512 | 7,593,197 |
| 構築物 | 1,053,982 | 100,041 | 953,941 |
| 什器備品 | 5,550,473 | 3,018,305 | 2,532,168 |
| 商標権 | 1,800,375 | 468,178 | 1,332,197 |
| ソフトウェア | 476,700 | 325,745 | 150,955 |
| 合 計 | 357,004,017 | 75,165,896 | 281,838,121 |

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。
(単位:円)

| 科 目 | 帳簿価格 | 時価 | 評価損益 |
|----------------|------------|------------|---------|
| 第270回利付国債(10年) | 30,213,000 | 31,092,000 | 879,000 |
| 合 計 | 30,213,000 | 31,092,000 | 879,000 |

6 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

| 属性 | 法人等の名称 | 住所 | 資産総額(単位円) | 事業の内容 | 議決権の所有割合 |
|----------------|---------|----------------------------|-----------|-------------------------------|----------|
| 役員 の 近親者 | (株)ブン企画 | 福岡県筑紫野市 針摺中央二丁 目2-32 | 8,657,747 | 映像ソフト、書籍 等の製作と研修 用備品の販売 | なし |

| 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額(単位円) | 科目 | 期末残高(単位円) |
|-------|--------|------------------|-----------|------|-----------|
| 役員兼務等 | 事業上の関係 | | | | |
| なし | 役務の受入 | 武道館全国大会 記念品制作 | 1,785,000 | 消耗品費 | 0 |
| | | 研修会用備品購入 | 871,200 | 消耗品費 | 0 |
| | | 合 計 | 2,656,200 | | 0 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

映像ソフト、書籍等及び研修用備品の発注については、他社から複数の見積り入手し、市場の実勢価格を考慮し、発注先及価格を決定している。

7 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|------------------------|----------|-----------------------------|---|--------------------|
| (流動資産) | | | | |
| | 現金 | ・手元保管(本部) | 運転資金として | 190,664 |
| | | ・手元保管(各支部・58口) | 運転資金として | 4,299,750 |
| | 預金 | 普通預金 | | |
| | | ・城北信用金庫駒込支店 | 運転資金として | 20,261,064 |
| | | ・三菱東京UFJ銀行駒込支店 | 運転資金として | 205,975 |
| | | ・ゆうちょ銀行中里支店 | 運転資金として | 4,671,010 |
| | | ・ゆうちょ銀行支部口座(58口) | 運転資金として | 27,112,201 |
| | | 振替預金 | | |
| | | ・ゆうちょ銀行中里郵便局 | 運転資金として (026471) | 880,679 |
| | | ・ゆうちょ銀行王子郵便局 | 運転資金として (687874) | 178,700 |
| | 未収金 | ・講師料等の未収額 | 普及促進事業に供する講師料等の未収分 | 831,314 |
| | 前払費用 | ・火災保険料前払費用額 | 管理運営に供する火災保険料前払費用分 | 651,871 |
| 流動資産合計 | | | | 59,283,228 |
| (固定資産) | | | | |
| 基本資産 | 投資有価証券 | ・第270回利付国債 | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 | 30,213,000 |
| <基本資産計> | | | | 30,213,000 |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | ・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店 | 負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産。 | 33,000,000 |
| | 減価償却引当資産 | ・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店 | 減価償却累計額に対応して引当された資産。 | 50,000,000 |
| <特定資産計> | | | | 83,000,000 |
| その他固定資産 | 建物 | ・会館 北区中里二丁目14 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66.0%:34.0%である。 | 43,419,707 |
| | 建物 | ・道場 北区中里二丁目12 | 公益目的事業の用に供しており、共用割合は100%である。 | 160,784,574 |
| | 建物(工事) | ・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。 | 14,550,149 |
| | 建物 | ・第二道場 北区中里二丁目14 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。 | 50,521,233 |
| <建物計> | | | | 269,275,663 |
| | 建物附属設備 | ・会館2階の空調・電気・昇降設置工事 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50.0%:50.0% | 1,442,560 |
| | | ・道場・会館の看板交換工事 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76.0%:24.0% | 300,647 |
| | | ・第二道場の電気・ガス・給排水・冷暖房等設備工事 | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20% | 5,849,990 |
| <建物附属設備計> | | | | 7,593,197 |
| | 構築物 | ・第二道場の舗装・排水工事、ネットフェンス・電動門扉・ | 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。 | 953,941 |
| <構築物計> | | | | 953,941 |

| | | | | |
|---------------|---------|--|--|---|
| | 什器備品 | ・テレビ・コンピュータ ・家具 ・コンピュータ:サーバー ・組込金庫 ・第二道場の電話設備・共同視聴装置 ・第二道場のインターフォン設備工事 ・絵画 | 管理業務の用に100%供している。 公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78% 公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78% 公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80%:20% 公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80%:20% 管理業務の用に100%供している。 | 12 289,260 94,202 166,110 445,682 186,902 1,350,000 |
| | | | <什器備品計> | 2,532,168 |
| | 土地 | ・95.70㎡(会館) 北区中里二丁目14 | 公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は66.0%:34.0%である。 | 66,453,187 |
| | 土地 | ・131.23㎡(道場) 北区中里二丁目12 | 公益目的事業に供しており、共用割合は100%である。 | 109,410,000 |
| | 土地 | ・116.68㎡(第二道場) 北区中里二丁目14 | 公益目的事業及び管理業務の用に共しており、共用割合は80.0%:20.0% | 91,861,500 |
| | | | <土地計> | 267,724,687 |
| | 商標権 | ・自彊術に関する日本・中国 ・台湾の商標権 | 公益目的事業の用に供しており、共有割合は100%である。 | 1,332,197 |
| | ソフトウェア | ・法人会計ソフト | 管理業務の用に100%供している。 | 150,955 |
| | 電話加入権 | | 公益目的事業の用に100%供している。 | 72,800 |
| | 保証金 | ・警備保障会社契約保証金 | 公益目的事業の用に100%供している。 | 20,000 |
| | 保険積立金 | | 管理業務の用に100%供している。 | 14,665,984 |
| | | | <その他計> | 16,241,936 |
| 固定資産合計 | | | | 677,534,592 |
| 資産合計 | | | | 736,817,820 |
| (流動負債) | 未払金 | | | 1,910,248 |
| | | ・印刷製本費 ・その他未払金 | 月刊機関紙印刷代等の未払い額 2,3月厚生年金保険料、3月分後納郵便代他 | 1,049,496 860,752 |
| | 前受会費 | | | 41,838,000 |
| | | ・正会員会費 ・賛助会費 ・研修会費 | 平成23年度正会員会費5名分の前受会費 平成23年度賛助会費の前受会費 第85回熱川研修会147名分の前受研修会費 | 50,000 36,201,000 5,587,000 |
| | 預り金 | | | 916,226 |
| | | ・源泉取得税 ・謝金等の源泉税 ・住民税 ・健康保険料 ・介護保険料 ・厚生年金保険料 ・雇用保険料 | 役員及び職員の預り金 源泉所得税 顧問料等 204条源泉所得税 役員及び職員の預り金 住民税 " 平成24年3月分 " " " | 409,175 19,000 71,700 127,980 8,380 214,178 65,813 |
| 流動負債合計 | | | | 44,664,474 |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | | | 35,229,376 |
| | | ・役員退職慰労引当金 ・職員退職給付引当金 | 常勤役員の退職慰労金の引当金 職員分の退職給付金 | 34,853,500 375,876 |
| 固定負債合計 | | | | 35,229,376 |
| 負債合計 | | | | 79,893,850 |
| 正味財産 | | | | 656,923,970 |

支部 現金預金明細

平成24年3月31日現在

| | 支部 | 現金 | 普通預金 | | 支部 | 現金 | 普通預金 |
|----|---------|---------|-----------|----|-----------|---------|-----------|
| 1 | 札幌支部 | 60,693 | 460,902 | 30 | 横浜朝日支部 | 30,116 | 923,046 |
| 2 | 福島支部 | 100,000 | 265,697 | 31 | 横須賀支部 | 133,752 | 277,047 |
| 3 | 山形県支部 | 49,194 | 120,769 | 32 | 神奈川南支部 | 75,232 | 92,244 |
| 4 | 茨城県支部 | 40,106 | 155,000 | 33 | 大岡支部 | 277,405 | 29,841 |
| 5 | 宮城県北支部 | 50,875 | 0 | 34 | 神奈川ミナト支部 | 1,403 | 16,000 |
| 6 | 東京北支部 | 102,220 | 6,400 | 35 | 神奈川ふじさわ支部 | 10,620 | 390,047 |
| 7 | 大宮支部 | 56,138 | 3,185,680 | 36 | 湘南支部 | 4,591 | 26,747 |
| 8 | 川越支部 | 81,178 | 700,000 | 37 | 静岡葵支部 | 59,231 | 70,000 |
| 9 | 熊谷支部 | 97,481 | 705,706 | 38 | 名古屋支部 | 84,197 | 727,038 |
| 10 | 春日部支部 | 158,532 | 576,540 | 39 | 名古屋中支部 | 61,807 | 409,188 |
| 11 | 千葉県支部 | 38,313 | 50,000 | 40 | 名古屋東支部 | 48,453 | 52,000 |
| 12 | 千葉県成田支部 | 66,042 | 850,000 | 41 | 豊橋支部 | 9,950 | 2,380,925 |
| 13 | 千葉県稲毛支部 | 66,544 | 495,222 | 42 | 静岡県支部 | 5,512 | 7,210 |
| 14 | 千葉県柏支部 | 44,029 | 1,683,843 | 43 | 石川県支部 | 5,646 | 100,000 |
| 15 | 新宿朝日支部 | 101,975 | 252,934 | 44 | 三重県支部 | 17,236 | 100,000 |
| 16 | 千代田支部 | 177,539 | 344,500 | 45 | 兵庫県支部 | 156,618 | 1,065,000 |
| 17 | 練馬支部 | 227,954 | 342,227 | 46 | 大阪府支部 | 99,344 | 1,045,000 |
| 18 | むさし野支部 | 98,202 | 364,712 | 47 | 京都府支部 | 139,779 | 325,000 |
| 19 | 板橋支部 | 52,826 | 176,000 | 48 | 滋賀県支部 | 105,000 | 768,384 |
| 20 | 小平支部 | 51,406 | 500,000 | 49 | わかやま県支部 | 53,795 | 352,223 |
| 21 | 立川支部 | 73,663 | 416,495 | 50 | 京都洛中支部 | 62,123 | 0 |
| 22 | 富士北麓支部 | 37,170 | 652,961 | 51 | 奈良県支部 | 141,072 | 100,000 |
| 23 | 千葉県流山支部 | 122,960 | 100,000 | 52 | 大阪東支部 | 88,199 | 450,000 |
| 24 | 立川朝日支部 | 120,696 | 471,976 | 53 | 福岡支部 | 113,006 | 1,168,750 |
| 25 | 春日部南支部 | 14,174 | 399,058 | 54 | 北九州支部 | 15,331 | 770,600 |
| 26 | 所沢支部 | 56,696 | 429,084 | 55 | 山口支部 | 5,603 | 0 |
| 27 | 東松山支部 | 59,842 | 59,636 | 56 | 沖縄支部 | 31,812 | 1,031,333 |
| 28 | 大宮南支部 | 76,054 | 0 | 57 | 南九州支部 | 38,719 | 288,236 |
| 29 | 横浜支部 | 117,186 | 200,000 | 58 | 福岡南支部 | 24,510 | 181,000 |

| | | |
|----|-----------|------------|
| 合計 | 4,299,750 | 27,112,201 |
|----|-----------|------------|